



交親館（長崎県議事院兼外賓接待所）

写真に見る

115年前の長崎

日露戦争時代

姫野 順一

□ 3 □

木造2階建てで、洋風窓と石の出隅カバーが施され、外構はランプを柱頭に頂く門柱と鉄製扉が目立つ豪華な造りである。

長崎県は明治2(69)年に

・江戸町)に県庁兼議事院が完成する明治43(1910)年まで28年間県議会場として使われた。明治16(1883)年には佐賀県が分離し議員は半減する。

明治12(1879)年6月、南北戦争で北軍を勝利に導き米大統領となったグラント将軍が、世界旅行で長崎を訪問した。22日に諏訪公園の長崎博覧会を見学し、翌日裁判所、県庁、師範学校を視察し、その夜県令(明治19年からは県知事)

主権の晩餐会に出席した。宿舎は新町の県立師範学校であった。県令内海忠勝は

発足し、第1回目の県会は

交親館は、外賓接待所として居留地の外国人との夜

このとき迎賓館の必要を痛感したようで、翌年県費1996万円を投じて県議事

光永寺で開催された。議員は佐賀と合同のため62人。

使われ、長崎の鹿鳴館でも

明治32(99)年の条約改正で居留地が廃止され、交親館の外賓接待所としての役割は終わる。議事院が新県

996万円を投じて県議事

光永寺は本堂・茶の間・客殿

あった。明治19(86)年12月、

領事夫人の集まった舞踏会

分を月85円で貸し出した。

交親館は明治15(82)年第

で、清国水兵の暴動事件処理で忙しい日下義勇知事に

大正4(15)年には改築されて県立図書館となった。

県庁舎と同じく軒の高い

5回の県会から、外浦町(現

代わって出席した可明子夫

人、きついコルセットで何度もダンスを踊ったあと倒れた。知事は島原の温泉獄に水を求めたが間に合わず、夫人は28歳の若さで亡くなった。その後稲佐に製氷所ができています。

令(明治19年からは県知事)

交親館は明治15(82)年第

で、清国水兵の暴動事件処理で忙しい日下義勇知事に

大正4(15)年には改築されて県立図書館となった。

令(明治19年からは県知事)

交親館は明治15(82)年第

で、清国水兵の暴動事件処理で忙しい日下義勇知事に

大正4(15)年には改築されて県立図書館となった。

令(明治19年からは県知事)

交親館は明治15(82)年第

で、清国水兵の暴動事件処理で忙しい日下義勇知事に

大正4(15)年には改築されて県立図書館となった。

豪華な造り 長崎の鹿鳴館

研究センター長)
(長崎外国語大・新長崎学)

週1回掲載します